

個別の教育支援計画				Ver.
プリント用印 氏名	花咲 太朗	性別 男	学校名	学年
癡育手帳		再認定		策定日(更新年月日) 作成者(担当)
身障者手帳		再認定		計画相談員 (担当者名・事業所)

1. 本人(☆)・保護者(○)の願い[学校生活への期待、成長への願い]

- ☆自転車や外で体を動かして遊ぶことが大好き。
- ☆バスの運転手になりたい。
- 嫌な事があっても気持ちを切り替えられるようになって欲しい。

2. 将来の社会参加につなげるために、身につけさせたい力

健康・安全	学校・家庭生活	余暇・地域生活	進路・就労
「基本的生活習慣/身辺自立」 「機能訓練/自己管理」	「学習方法」「認知」「集団活動」「役割」	「社会性」「余暇」「コミュニケーション」「移動・公共施設」	「作業」「マナー」「金銭教育」「一般知識」
・嫌な事があっても気持ちを切り替えられるようにする。	・小2程度の漢字の読み書きや日記が書ける。 ・計算機を使って3桁の計算ができる。	・コンビニで買い物ができる。 ・路線バスを利用できる。	・整理整頓をする。 ・お金の計算ができる。

3. 長期目標
(3年間)
- ①嫌な事があっても気持ちを切り替えられるようにする。
 - ②他者と積極的に関わり、自分の思いや考えを伝えられるようになる。
 - ③路線バスが利用できるようになる。
 - ④お金の計算や整理整頓ができる。

観点	目標	支援の内容[手立て(合理的配慮等)]	評価
健康/生活面 (医療)	①気持ちのコントロールができるようになる。	・自分の気持ちに沿った表現の仕方を学び、自身で表現できるよう練習する。	
学習面 (教育)	②自分の考えや思いを伝えることができるようになる。	・各教科において発表する場をつくり、自信が持てるようになる。	
社会的・生活面 (余暇/福祉)	③路線バスを利用して、自分で登校することができる。	・学校での自力通学指導を通して、自分でバスを利用できるようになる。	
作業/就労面 (進路)	④お金の計算ができる。	・校外学習での買い物学習や校内販売会等を通して、基本的なお金の概念を身につけさせる。	

5. 評価(成果) ・達成できたこと(継続したい取り組み)

6. 引き継ぎ ・課題:今後、支援を要すること

上記内容について、了解し確認しました。

外部機関への提供(可・否)

保護者氏名

印

* 色の塗られた部分は記入する必要はありません。

1. 本人保護者のねらい

☆生徒本人の、将来の夢や希望、好きなこと(物)、得意なこと、興味・関心のあるもの、を記入してください。

○保護者が、生徒本人に「できて欲しいこと」「配慮して欲しいこと」を記入してください。

* 1つ、ないし多くても2つ~3つ程度ご記入ください。

2. 将来の社会参加につなげるために身につけさせたい力

① 健康・安全

・衣服の着脱、排泄、食事など日常生活に関する事について

② 学校・家庭生活

・学習面に関する事(ひらがなが読める、数が読める・・・等)

・理解する力(簡単な指示が分かる・・・等)

・集団の中で活動する力(集団の中で一緒に座れる・・・等)

③ 余暇・地域生活

・人との関わりについて

④ 進路・就労

・手指操作、道具の扱い方(ボタンのかけはずしができる・・・等)

・ルールや約束、時間を守ること。その他、金銭に関する事。

* 上記の視点を参考に、ご記入ください。

* 枠内をうめる必要はありません。(1~2つ程度)

* ①~④項目全てについて記入する必要はありません。

※ (①だけとか、①と③だけ…等ご記入できる範囲でかまいません)

3. 長期目標

- ・中学部を卒業するまでの3か年間で身につけさせたい力を想定し記入する。
- ・長期目標と、短期目標の数字はリンクさせる。

3. 短期目標

- ・短期目標は、長期目標をスマールステップで段階的に達成できるよう内容を考慮して記入する。
- ・短期目標に記入する内容は各項目1つずつとする。支援内容は印刷表示できる範囲内で記入する。
- ・長期目標から短期目標に目標を設定する際に、観点が必ずしも4つの項目に入ってなくても良い。(同じ項目で目標を複数ある場合、その観点を選択する。)

★ 色の塗られた部分に関しては、ご記入頂いたものを参考に担任が作成し、家庭訪問時に保護者と一緒に確認していきます。